



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月13日

上場会社名 中日本鑄工株式会社 上場取引所 名  
コード番号 6439 URL <http://www.nakachuko.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥居 良彦  
問合せ先責任者(役職名) 管理本部 参与 (氏名) 加藤 俊哉 (TEL) 0563-55-4477  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,731	△14.7	△85	—	△83	—	△87	—
2024年3月期第3四半期	4,372	12.0	195	—	248	—	205	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△38.59	—
2024年3月期第3四半期	90.92	90.47

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	9,622	3,383	34.9	1,486.09
2024年3月期	9,221	3,488	37.5	1,545.47

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,353百万円 2024年3月期 3,459百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期(中間期)末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△14.3	△300	—	△245	—	△245	—	△108.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	2,306,300株	2024年3月期	2,306,300株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	49,407株	2024年3月期	48,954株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	2,257,180株	2024年3月期3Q	2,257,605株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
独立監査人の四半期財務諸表に対する期中レビュー報告書 .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られる等、経済活動の正常化が緩やかに進みました。

一方海外では、不安定な国際情勢を背景とする原油価格の上昇や原材料価格の高止まりは継続し、米国の保護主義政策に伴う影響や、円安の継続、物価高騰に伴う消費者の購買意欲変化等、先行き不透明な状況が継続しております。

鑄造業界において、今期、建設機械向けを主力とする産業機械関連向け需要が、中国需要低迷長期化や欧米の建設機械メーカーの需要減少に伴う在庫調整等により大幅に減少しております。

このような状況下、営業活動におきましては、他産業向け新規品受注活動に注力してまいりましたが、操業度の悪化は免れず、収益改善も大変厳しい状況です。

このような経営環境の中で、当社の2025年3月期第3四半期累計期間の業績は、売上高は3,731百万円（前年同期比640百万円減、14.7%減）となりました。利益面につきましては、営業損失85百万円（前年同期営業利益195百万円）、経常損失83百万円（前年同期経常利益248百万円）、四半期純損失87百万円（前年同期四半期純利益205百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①鑄物事業

売上高は、産業機械関連向けの部品をはじめとして全ての部品の需要が急減したことにより3,556百万円（前年同期比669百万円減、15.8%減）となりました。利益面につきましては、生産性向上及び製造諸経費の削減等、収益改善に努めましたが、営業損失は162百万円（前年同期営業利益121百万円）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

売上高は109百万円（前年同期比9百万円増、9.0%増）となりました。営業利益は44百万円（前年同期比0百万円減、0.0%減）となりました。

#### ③発電・売電事業

売上高は65百万円（前年同期比19百万円増、41.7%増）となりました。営業利益は32百万円（前年同期比4百万円増、13.9%増）となりました。

### (2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第3四半期末における総資産は、9,622百万円（前年度末比400百万円の増加）となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少130百万円、受取手形及び売掛金の減少219百万円、電子記録債権の減少88百万円、仕掛品の増加214百万円等により4,234百万円（前年度末比126百万円の減少）となりました。

固定資産は、建物及び構築物の増加32百万円、機械装置及び運搬具の増加301百万円、建設仮勘定の増加108百万円等により、5,387百万円（前年度末比527百万円の増加）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少87百万円、短期借入金の減少96百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加98百万円等により、2,010百万円（前年度末比198百万円の減少）となりました。

固定負債は、長期借入金の増加724百万円等により4,228百万円（前年度末比704百万円の増加）となりました。

純資産の残高は、3,383百万円（前年度末比105百万円の減少）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年11月13日に発表いたしました「2025年3月期中間会計期間の予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,437,019	2,306,560
受取手形及び売掛金	642,650	423,178
電子記録債権	845,480	757,257
商品及び製品	102,156	126,122
仕掛品	191,283	405,356
原材料及び貯蔵品	92,612	85,382
その他	50,504	130,961
流動資産合計	4,361,708	4,234,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	983,014	1,015,345
機械装置及び運搬具（純額）	543,207	845,135
工具、器具及び備品（純額）	41,014	42,606
土地	2,146,423	2,146,423
リース資産（純額）	143,011	111,174
建設仮勘定	84,841	193,547
有形固定資産合計	3,941,513	4,354,232
無形固定資産		
ソフトウェア	19,829	11,949
無形固定資産合計	19,829	11,949
投資その他の資産		
投資有価証券	480,842	504,257
その他	417,702	517,172
投資その他の資産合計	898,545	1,021,430
固定資産合計	4,859,888	5,387,612
資産合計	9,221,596	9,622,430

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	365,253	277,895
電子記録債務	616,831	598,807
短期借入金	106,500	10,000
1年内返済予定の長期借入金	720,470	819,295
リース債務	27,384	24,267
未払金	105,310	109,768
未払費用	75,061	85,117
未払法人税等	51,349	681
賞与引当金	65,567	35,678
その他	74,545	48,666
流動負債合計	2,208,272	2,010,178
固定負債		
長期借入金	3,086,902	3,811,586
長期リース債務	129,595	97,509
繰延税金負債	138,046	146,051
役員退職慰労引当金	117,147	124,644
その他	52,981	48,904
固定負債合計	3,524,673	4,228,696
負債合計	5,732,946	6,238,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	2,572,860	2,572,860
利益剰余金	801,268	680,309
自己株式	△31,108	△31,298
株主資本合計	3,373,020	3,251,870
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86,029	102,084
評価・換算差額等合計	86,029	102,084
新株予約権	29,600	29,600
純資産合計	3,488,649	3,383,555
負債純資産合計	9,221,596	9,622,430

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	4,372,391	3,731,513
売上原価	3,665,159	3,392,908
売上総利益	707,231	338,605
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	157,414	151,499
給料及び手当	70,410	59,512
その他	284,095	213,195
販売費及び一般管理費合計	511,919	424,207
営業利益又は営業損失(△)	195,311	△85,601
営業外収益		
受取利息	7	535
受取配当金	13,181	9,551
売電収入	25,134	—
助成金収入	30,634	8,728
その他	11,457	6,231
営業外収益合計	80,415	25,047
営業外費用		
支払利息	18,274	23,393
売電原価	8,870	—
その他	179	—
営業外費用合計	27,324	23,393
経常利益又は経常損失(△)	248,402	△83,948
特別利益		
固定資産売却益	14,857	6,690
投資有価証券売却益	88,595	—
特別利益合計	103,452	6,690
特別損失		
固定資産処分損	30	3,427
投資有価証券売却損	30,769	—
投資有価証券評価損	—	2,811
減損損失	1,544	1,557
特別損失合計	32,343	7,797
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	319,511	△85,054
法人税等	114,239	2,045
四半期純利益又は四半期純損失(△)	205,272	△87,099

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	鑄物事業	不動産賃貸事業	発電・売電事業	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,225,879	—	45,932	4,271,811	4,271,811
その他の収益	—	100,580	—	100,580	100,580
外部顧客への売上高	4,225,879	100,580	45,932	4,372,391	4,372,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,225,879	100,580	45,932	4,372,391	4,372,391
セグメント利益	121,972	44,385	28,953	195,311	195,311

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

鑄物事業セグメントにおいて将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、1,544千円であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	鑄物事業	不動産賃貸事業	発電・売電事業	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,556,793	—	65,098	3,621,892	3,621,892
その他の収益	—	109,621	—	109,621	109,621
外部顧客への売上高	3,556,793	109,621	65,098	3,731,513	3,731,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,556,793	109,621	65,098	3,731,513	3,731,513
セグメント利益	△162,942	44,374	32,965	△85,601	△85,601

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

鋳物事業セグメントにおいて将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。  
 なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、1,557千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	177,210千円	214,387千円

## 独立監査人の四半期財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年2月13日

中日本鋳工株式会社

取締役会 御中

五十鈴監査法人

本部・津事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 端地 忠司

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 船越 勇輝

### 監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている中日本鋳工株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第114期事業年度の第3四半期会計期間（2024年10月1日から2024年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（2024年4月1日から2024年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。